

保護者の皆様

札幌市立東橋小学校

## 自己評価書及び学校関係者評価書公表について

本校は、子どもたちの健やかな成長を目指し、毎年各教育活動に対して自己評価を行っています。

その評価は、札幌市立東橋小学校の児童のため、本校の教育活動をよりよく改善することをねらいとして実施しています。

昨年度から、本校の自己評価が、改善に向け正しく評価されているかご助言いただくため、学校関係者評価委員会を立ち上げました。あわせて、学校関係者評価書をいただきました。

その内容を保護者の皆様に公表し、本校の教育活動に対して、よりご理解・ご協力していただきたいと考えました。

本校の特色となる教育課程や生徒指導について評価しています。また、ここには、記載されませんが、教育活動の推進を支える学校組織についても評価し、改善点を明らかにしています。一部の内容については、学校便りで、すでにお知らせしておりますが、ここに自己評価書及び学校関係者評価書として、ご報告します。

以下の昨年度報告をご理解いただき、今年度も本校の教育活動についてご支援・ご協力をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

## 平成 20 年 自己評価書及び学校関係者評価書

平成 21 年（2009年）3 月 31 日

## 1 本年度の重点目標

「学ぶ喜び、ふれあう楽しさ、きたえる快さを実感できる、生き生きとした子供の育成」

## 2 本年度の経営方針

生き生きと・・・『夢と希望』を育む教育を  
「和と信頼・明るく思いやりに満ちた学校の創造」

## 3 自己評価結果

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方向	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
教育課程に関すること	朝の活動の充実 (朝の読書活動等の充実)	ほぼ達成できた	本年度取り組んだ「朝の読書」が定着してきた。来年度は、月水金を「読書」、木曜日は「縄とび」、火曜日を「学習」として、知徳体のバランスをとって、より充実した活動とする。	適切に評価している	適切な改善策をとっている
	学校行事(運動会)、児童会活動(異学年交流)の充実	課題が残る	保護者から改善意見が数多く出ていた運動会については、21年度から競技種目を増やし、競技内容の工夫・充実を図る。 異学年交流(ふれあい活動)は、19年度から大幅な活動の見直しを図ってきたが、成果を上げてきている。	適切に評価している	適切な改善策をとっている

	「新学習指導要領」の理念を生かした教育課程の編成および移行期の教育活動の充実	ほぼ達成できた	「新学習指導要領」の理念である「生きる力」を育成するための教育課程の編成に努めた。来年度からスタートする外国語活動は、5・6年生で年間35時間指導する。	適切に評価している	適切な改善策をとっている
学校関係者評価者による意見	「新学習指導要領」に準拠し、知徳体のバランスを重視した児童の育成に努めること。また、来年度見直しを図る運動会については、重点的に評価すること。				
生徒指導に関すること	「あかるい あいさつ あずまばし」運動の充実	ほぼ達成できた	基本的な生活習慣を充実する取組として「あいさつ運動」を推進し、児童に定着しつつある。今後は、家庭や地域と協力した幅広い運動に発展させる。	適切に評価している	適切な改善策をとっている
	「いじめ」や「不登校」などがない学校の実現	ほぼ達成できた	「いじめ」のない学校を目指して、各学級できめ細やかな生徒指導を実施し、教育相談の充実を図った。「不登校」児童については、家庭と連携をとって登校するよう働きかけ、少しずつ改善してきた。	適切に評価している	適切な改善策をとっている
学校関係者評価者による意見	基本的な生活習慣にかかわるあいさつや心の教育に関しては、学校教育ばかりでなく、地域社会でも運動を広げていくこと。				

学校関係者評価委員会は、学校が、評価システムを整え自己評価し、改善に向け具体的に手立てを取っているか、また、その評価は適切であるか、を指導・助言いただくために、立ち上げられたものです。

学校評議員制度とは、学校長が学校運営に関し、保護者や地域住民等の意向を把握・反映しながら地域に開かれた学校づくりを推進するために設置するものです。

本校では、平成21年度も、学校評議員制度、学校関係者評価委員会を設置いたします。また、学校関係者評価委員及び学校評議員に、平成20年度と同様の皆様をお願いしております。